

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度

令和2 年度

市町村名	志木市		
提案事業名	川の国埼玉はつらつプロジェクト～川を舞台とした地域活性化と健康増進事業～		
事業期間	令和2 年度	～	令和2 年度
事業の必要性、目的	魅力ある水辺空間の整備・拡充を図るため、埼玉県と連携して取り組む「川の国埼玉はつらつプロジェクト」において整備するいろは親水公園を中心とした水辺空間に、「新たな人の流れを創出するウォーキングコースの整備」や「いろは親水園内の回遊性を向上させる流れ橋を設置」することで、健康増進事業とも連携したにぎわい振興を図るものである。		
成 果 指 標	(成果を検証する指標) 水辺空間を活用したイベント等への参加者数		
	(成果検証の具体的な方法) ウォーキング関係・・・「いろは健康ポイント事業」参加者数 流れ橋を活用したイベント関係・・・「志木さくらフェスタ」への来訪者(参加者)数		
	(上記の指標を設定した理由) 本市が市民の健康づくりを目的として普及に取り組んでいる「いろは健康ポイント事業」では、ウォーキングへの意識の高揚につながる様々な取組を展開しており、今回整備するウォーキングコースも本事業の取組の中で利用を推進することから、指標の1つとした。 また、流れ橋については、春の一大イベントである「志木さくらフェスタ」を始めとするいろは親水公園を中心とするイベントにおいて設置することで、来訪者(参加者)の利便性の向上と公園の魅力アップを図り、にぎわい振興を図ることから、「志木さくらフェスタへの来訪者数」も、指標の1つとした。 これらの参加者数は、健康増進事業とも連携したにぎわい振興に資する数値であることから、成果指標に設定したものである。		
	(成果の目標値)		
	現状値 (令和元年度)	2,911人	目標値 (令和4年度)3,000人
	(施設建設等の場合)		
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)
	住民への公表方法及び特記事項		

【成果指標と構成事業の関連性】

令和2年度 構成事業

構成事業名		概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① ウォーキングコース施設整備	ハード	本市が市民の健康づくりを目的として普及に取り組んでいる「いろは健康ポイント事業」では、ウォーキングへの意識の高揚につながる様々な取組を展開しており、その一環として、同事業の参加者に対し、今回整備するウォーキングコースを活用したマップの配布を行うとともに、街中歩きを推奨することで、健康増進にも資するにぎわいづくりを実現することができる。	6,336
② 流れ橋上部工備品の購入	ハード	春の一大イベントである「志木さくらフェスタ」を始めとするいろは親水公園を中心とするイベント等において流れ橋を設置することで、いろは親水公園の回遊性を向上させ、来訪者(参加者)の利便性の向上と公園の魅力アップを図ることができる。	7,508
③	間接補		
④	ハード ソフト 間接補		
合計			13,844

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	広報紙やホームページなど広報媒体を活用した情報発信と、各種イベント等を運営する関係団体と連携を図りながら効果的に実施していく。
成果指標の達成見込み	上記方策により、指標を十分達成できると考えるが、イベントに関しては新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴い、実施できない可能性がある。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

- ・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

- ・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業
に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

- ・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。